

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2002年10月15日

2002年10月13日現在

10月13日までの1週間は、気温は平年を下回ったが好天が続き秋の農作業が各地で順調に進捗した。州平均農作業可能日数は6.9日であった。乾燥した気象が続いており、北部地区及び南西地区では降水はゼロであった。土壌水分は多少悪化した。

2003年産冬小麦の播種捗り、北部地区で86%（昨年同期：70%、平年：79%）、全州で見ると88%の圃場で完了した。平年（76%）並びに昨年（73%）より早い進捗である。全州で38%の圃場で出芽している（昨年：31%、平年：35%）。冬小麦の主産地である北部地区の出芽状況は、18%であり昨年（9%）より良いが、平年（23%）より遅れている。

土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	25	39	36	0
Last week (%)	22	40	38	0

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	18	27	32	23	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	2001	Ave.
Winter wheat planted (%)	88	64	73	76
Emerged (%)	38	22	31	35

Source： Idaho Agricultural Statistics Service

8月1日付けUSDAの冬小麦生産予想では7月1日と変わらず、75.0ブッシェル/エーカー（昨年：73.0ブッシェル）となっている。収穫面積予想は690,000エーカー（昨年：710,000エーカー）、収穫予想量は51,750千ブッシェル（昨年：51,830千Bu）である。